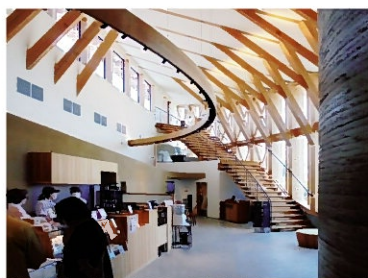




ARCHITECTURE REVIEW



建築見て歩記 その114

長野ICのすぐ近くにある「おやきファーム」です。2024年に遠野未来の設計でオープンしました。地元で有名な「いろは堂」のアンテナショップであり、「製造工程見学」や「おやき作り体験」のスペースもありますが基本的にテイクアウトの店で、円弧状のガラス面に包まれた吹抜の空間はとても心地良い場所です。上階へ続く階段は屋外テラスへ繋がっています。

CURRENTLY WORKS



パーソナルカラー彩花 その2…必要機能のデザイン化

パーソナルカラーサロンでは、お客様に、その方固有の色味を提示する事が主業務ですが、付帯する機能として、その色味の化粧品を使つてのメイクも行います。写真はメイクゾーンで、1室空間の中でも独立した領域と感じてもらえるよう、床の色変えや天井の照明リングなどで空間感覚を操作しています。また、化粧品用ワゴンを壁に埋め込んでいます。

PRIVATE TOPICS



太田のアート探訪記 その26

神戸にある「フィッシュダuns」1987年完成です。昨年末に96歳で亡くなったアメリカの建築家フランク・O・ゲリー設計の建築作品ですが、高さ22mの「鯉」のオブジェは、アートと捉えても良いと思います。彼は彫刻的な概念で建築を構想していたと言えるでしょう。彼の、唯一の日本での作品であり、このまま残って欲しいと思います。

EDITORIAL NOTE

冬には雪が降ります。我が国では「雪月花」という言葉のように、季節を愛でる言葉が溢れています。雪にも様々な呼び名が与えられています。「名残雪」「涅槃雪」「雪花」「深雪」「銀花」「雪化粧」「牡丹雪」「六花」「細雪」「粉雪」「沫雪」「綿帽子」「銀世界」「冰雪」…どれも風景を喚起する美しい言葉です。

編集担当：太田・藤原、監修：岡島